

エコアクション21  
環境活動レポート  
令和5年度

活動期間 令和5年8月1日～令和6年7月31日

発行日： 令和6年11月26日

金山建設株式会社

# 環境方針

## 環境理念

金山建設株式会社は、建設事業活動を通して、今ある自然環境への負荷軽減を図る為に、環境保全を意識し、環境経営システムの構築及び運用することにより、環境保全活動を自主的積極的に推進します。

## 行動指針

- (1) 当社に適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- (2) 次の事項について、具体的な環境目標及び環境活動計画を定め、実施します。
  - ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出量を削減します。
  - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。
  - ③ 節水に努め、総排水量を削減します。
  - ④ グリーン購入を推進し、環境に配慮した工事施工に努めます。
  - ⑤ 社会貢献活動を積極的に行います。
- (3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 平成 21 年 10 月 15 日

金山建設株式会社

代表取締役 金山 明史

## 事業概要

### 《会社名》

金山建設株式会社

### 《代表者氏名》

代表取締役 金山明史

### 《環境管理責任者》

代表取締役 金山明史

TEL 0565-58-0767

FAX 0565-58-1816

E-mail knym@hm7.aitai.ne.jp

### 《所在地》

本社

〒444-2202

愛知県豊田市松平町神田13番地

TEL 0565-58-0767

平山営業所

〒471-0827

愛知県豊田市平山町5丁目1番地

TEL 0565-27-3693

### 《事業の内容》

土木建設業

### 《建設業許可》

一般建設業

愛知県知事許可（般-17）第15622号

許可業種 舗装工事 しゅんせつ工事

産業廃棄物収集運搬業

愛知県 許可番号 0230036823号

豊田市 許可番号 09000036823号

岡崎市 許可番号 10500036823号

但し、産業廃棄物収集運搬業は、業としての実績を有しない為、審査申請から除外する。

### 《事業の規模》

活動規模	単位	R3年度	R4年度	R5年度
売上高	百万円	162	291	254
従業員数	人	6	8	6

※事業年度

R3年度：令和 3年8月～令和4年7月

R4年度：令和 4年8月～令和5年7月

R5年度：令和 5年8月～令和6年7月

### 《沿革》

昭和42年 4月 金山組立上

昭和52年12月 金山建設(株)設立

現在に至る。

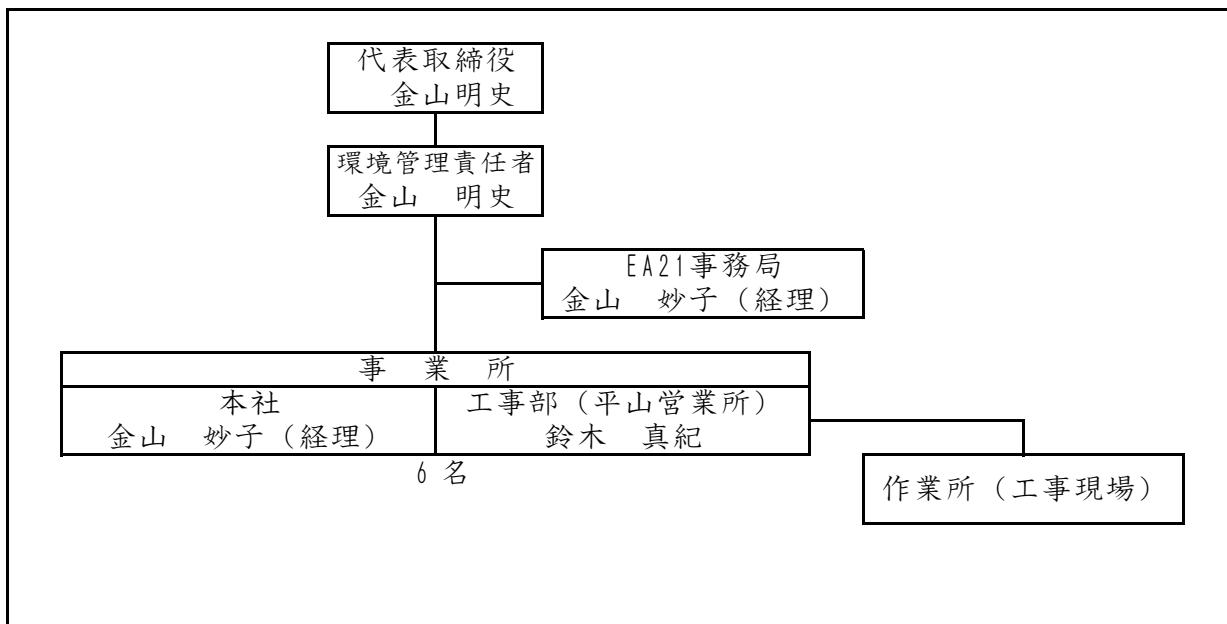
### 《認証登録範囲》

対象組織： 全社

対象活動： 事業内容と同じ

作成日 令和5年8月27日  
 作成者 代表取締役 金山 明史  
 承認者 代表取締役 金山 明史  
 従業員数  
 4時間未満/日 0名  
 4時間以上/日 6名  
 (令和5年8月27日現在)

## エコアクション実施体制図



## 役割分担表

役割	氏名	責任・権限
代表取締役	金山 明史	環境方針の作成、環境管理責任者の任命、資源（人員・設備・費用等）の整備、全体の評価と見直し
環境管理責任者		循環経営システムを構築・運用する。
事務局	金山 妙子	環境関連文書及び記録の作成・管理等
本社		本社の電力・紙類の管理
工事部 平山営業所	鈴木 真紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>平山営業所の電力・化石燃料使用量・ガス使用量・水使用量・産業廃棄物の管理。</li> <li>環境経営システムの実施（周知）・報告・提案・問題点の改善</li> </ul>
作業所 工事現場	現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事現場の電力・化石燃料使用量・ガス使用量・水使用量・産業廃棄物の管理</li> <li>環境経営システムの実施（周知）・報告・提案・問題点の改善</li> <li>社会貢献活動の実施・報告</li> </ul>

# 環境目標

作成日 令和5年 7月 20日  
 作成者 金山明史  
 承認者 金山明史

令和3年度（R3年8月～R4年7月）の実績（基準）をもとに、令和6年度までの中期目標を以下の通り定め、その達成に向けて、社員一丸となって努力する。

項目	単位	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		
		R3年8月～R4年7月		R4年8月～R5年7月		R5年8月～R6年7月		R6年8月～R7年7月		
		実績（基準）		目標		目標		目標		
		総量	原単位	総量	原単位	総量	原単位	総量	原単位	
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量削減（合計）	kg-CO2	41,788	25,795	1%削減 41,370	1%削減 25,537	2%削減 40,952	2%削減 25,279	3%削減 40,534	3%削減 25,021
	電力使用量削減事業所	kWh	4,536	2,800	1%削減 4,491	1%削減 2,772	2%削減 4,445	2%削減 2,744	3%削減 4,400	3%削減 2,716
	灯油使用量削減事業所	L	477	294	1%削減 472	1%削減 292	2%削減 467	2%削減 289	3%削減 463	3%削減 286
	ガソリン使用量削減事業所	L	3,467	2,140	1%削減 3,432	1%削減 2,119	2%削減 3,398	2%削減 2,097	3%削減 3,363	3%削減 2,076
	ガソリン使用量削減現場	L	3,234	1,996	1%削減 3,202	1%削減 1,976	2%削減 3,169	2%削減 1,956	3%削減 3,137	3%削減 1,936
	軽油使用量削減現場	L	8,555	5,281	1%削減 8,469	1%削減 5,228	2%削減 8,384	2%削減 5,175	3%削減 8,298	3%削減 5,122
一般廃棄物排出量削減（事業所）	kg	110	68	1%削減 109	1%削減 67	2%削減 108	2%削減 67	3%削減 107	3%削減 66	
産業廃棄物再資源化率向上（建設現場）	%	91.6	91.6	95.0以上	95.0以上	←	←	←	←	
水使用量削減事業所	m3	249	154	1%削減 247	1%削減 152	2%削減 244	2%削減 151	3%削減 242	3%削減 149	
グリーン購入の推進	件	5		5		5		5		
環境配慮工事の推進		-		推進		推進		推進		
社会貢献活動【年2回（6月9月12月3月）の環境美化日に清掃】	回	4		4		4		4		

- ※1. 中部電力2019年度調整排出係数0.426kg-Co2/kwhを使用。
- ※2. 化学物質の使用はありません。
- ※3. 平山寮を除く。

**環境活動計画及び実施状況の評価**

作成日 令和6年 8月27日  
 作成者 金山 明史  
 承認者 金山 明史  
 評価日 令和6年 8月27日

環境活動計画：令和5年度（令和5年8月～令和6年7月）全社取組  
 目標を達成するために、以下のような活動を推進してまいりました。

\*評価：実施状況評価 ○：取組充分 △：取組不充分 未実施：×

項目	環境活動計画の取組内容	*評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減 (1) 冷暖房の運用基準の策定し、設定温度を見直し及び徹底 (2) 冷暖房機フィルターの清掃年2回実施（6月・10月） (3) 未使用時の消灯・節電の徹底 (4) 節電啓発ポスターまたはステッカー掲示	○ ○ ○ ○
	灯油使用量削減 (1) 暖房の運用基準を策定し、設定温度を見直し及び徹底 (2) 省エネ啓発ポスターまたは節電ステッカー掲示	○ ○
	LPG使用量削減 (1) 浴槽温度の運用基準を策定し、設定温度を見直し及び徹底	○
	ガソリン使用量削減 (1) エコドライブ、エコ運転操作の徹底	○
	軽油使用量削減 (1) エコドライブ、エコ運転操作の徹底	○
一般廃棄物排出量削減 (事業所)	(1) 両面印刷・コピー、裏紙利用の徹底 (2) 分別を徹底し再生利用の推進 (3) 私ゴミの持ち帰りを徹底	○ ○ ○
産業廃棄物再資源化率向上 (建設現場)	(1) 分別の徹底 (2) 再資源可能業者の選定	○ ○
水使用量削減	(1) 節水啓蒙ポスターまたはステッカー掲示 (2) 水道配管漏水の定期的点検	○ ○
グリーン購入の推進	(1) 事務用品のグリーン購入品の増加	○
環境配慮工事の推進	(2) 環境に配慮した工事の見積推進	○
社会貢献活動 (年2回の環境美化日に清掃)	(1) 事務所及び資材置き場周辺の清掃	○
<p><b>【評価コメント】</b>                      目標値に対しては未達成事項はあるが、活動取組は実施できたと思う。                      今後とも、継続的に行っていきたい。</p>		



## 環境目標の達成度

作成日 令和6年 8月30日  
 作成者 金山明史  
 承認者 金山明史

令和3年度（R3年8月～R4年7月）の実績をもとに、令和5年度（R5年8月～R6年7月）の総量及び原単位目標を以下の通り定め、その達成に向けて、社員一丸となって努力しました。その結果は以下の通りです。

項目	単位	令和3年		令和5年度				増減率		
		3年8月～4年7月		R5年8月～R6年7月						
		実績（基準）		目標		実績		総量	原単位	
		総量	原単位	総量	原単位	総量	原単位			
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量削減（合計）	kg-CO2	41,788	25,795	2%削減 40,952	2%削減 25,279	79,620	31,346	94.4%	24.0%
	電力使用量削減事業所	kWh	4,536	2,800	2%削減 4,445	2%削減 2,744	4,393	1,730	-1.2%	-37.0%
	灯油使用量削減事業所	L	477	294	2%削減 467	2%削減 289	487	192	4.2%	-33.6%
	ガソリン使用量削減事業所	L	3,467	2,140	2%削減 3,398	2%削減 2,097	3,912	1,540	15.1%	-26.6%
	ガソリン使用量削減現場	L	3,234	1,996	2%削減 3,169	2%削減 1,956	1,541	607	-51.4%	-69.0%
	軽油使用量削減現場	L	8,555	5,281	2%削減 8,384	2%削減 5,175	24,702	9,725	194.6%	87.9%
一般廃棄物排出量削減事業所	kg	110	68	2%削減 108	2%削減 67	120	47	11.3%	-29.0%	
建設産業廃棄物再資源化率向上（建設現場）	%	91.6	91.6	95.0以上	95.0以上	100	100	5.0%	5.0%	
水使用量削減事業所	m3	249	154	2%削減 244	2%削減 151	202	80	-17.2%	-47.2%	
グリーン購入の推進	件	5		5		5		0.0%		
環境配慮工事の推進	—	—		推進		推進		推進		
社会貢献活動【年2回（6月9月12月3月）の環境美化日に清掃】	回	4		4		4		0.0%		

## 環境活動の取組結果の評価と今後の取組

作成日 令和6年 9月30日  
 作成者 金山明史  
 承認者 金山明史

令和5年度（5年8月～6年7月）の取組に対しての、自己評価は以下の通りです。

取組項目	令和5年度目標	取組結果(増減)	評価 (○：目標達成 △：何れか未達成 ×：何れも未達成)		
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量削減	2%削減 総量実績：94% 原単位実績：24%	売上が増大し、実績総量は増加したが、原単位では約3割減になった。増えた原因は工事規模が大きくなり、リース重機械を使用するための燃料が増えたことです。	△	
	電力使用量削減	2%削減 総量実績：-1% 原単位実績：-37%	電力使用量の総量は約6割減となった。また、本年度から平山事務所のみになったため、寮の分が減った。	○	
	灯油使用量削減	2%削減 総量実績：4% 原単位実績：-34%	大型工事を受注したため、残業等で暖房器具を使用し、実績送料は増えたが、売り上げが増えたため、原単位は減少した。	△	
	ガソリン使用量削減	2%削減	事業所 総量実績：15% 原単位実績：-27%	今年度もガソリン・軽油使用量は、基準年と比較した結果、走行表を実施し、エコドライブ・アイドリングストップ等に配慮し運転した。ガソリンが減ったのは、軽乗用車の変更によるものが大きい比重を占めている。軽油が増えたのは、大型工事により大型重機をリースしたためである。今後ともエコドライブ徹底と仕事の効率化による燃費向上により化石燃料の削減に努める。	△
			現場 総量実績：-51% 原単位実績：-69%		○
軽油使用量削減	2%削減 現場 総量実績：195% 原単位実績：88%	△			
一般廃棄物排出量削減 (事業所)	3%削減 総量実績：11% 原単位実績：-29%	私ゴミの推奨を進めたが、工事現場の数が増え、書類などが増えたため、排出量が増大した。今後も、取組を継続していく。	×		
産業廃棄物再資源化率向上 (建設現場)	95% 総量実績：100% 原単位実績：100%	分別の徹底、再資源可能業者の選定により、再資源化率100%を達成	○		
水使用量削減	2%削減 総量実績：-17% 原単位実績：-47%	大型工事により、現場に水を運搬したため実績送料が増えたが、売り上げ増加により原単位実績は約4割減となった。	△		
グリーン購入の推進	5件	5件	事務用品で、5件購入目標を達成することができた。	○	
環境配慮工事の推進	推進	推進	工事に対しては、リサイクル材を使用するように見積等で提案している。	○	
社会貢献活動 (年2回の環境美化日に清掃)	3月・6月9月・12月	4回	4回実施。今後も取組を継続する。	○	

・次年度の環境経営計画は令和4年度の計画を継続する。

# 環境関連法規制への遵守状況の評価及び違反、訴訟等の有無

## 1 遵守状況の評価

当社に適用される環境関連法規の遵守状況の評価の結果、適正に遵守されていることが確認されました。適用法令等は以下の通りです。

廃棄物処理法、ラージリサイクル法、再生資源利用省令、指定副産物利用促進省令、建設リサイクル法、家電リサイクル法、建設リサイクル処理マニュアル、建設副産物適正処理推進要綱、建設汚泥再生利用ガイドライン、自動車排ガス特措法、オフロード法、騒音規制法、振動規制法、消防法、浄化槽法、愛知県環境保全条例

## 2 違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 代表者による全体評価と見直し結果

当社では代表者が環境管理責任者と重複する為、代表者が全体見直しに必要な情報を収集し、システムの有効性、取組の適切性を評価する。

代表者による変更の必要性の判断・指示	評価者：	金山明史
	作成日：	令和6年8月30日
<b>【評価結果】</b>		
1 環境経営システム	<input checked="" type="checkbox"/> 有効に機能している	<input type="checkbox"/> 機能していない
2 環境への取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 一部適切でない
<b>【変更判断・指示】</b>		
<b>【変更判断・指示】</b>		
1 環境方針の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2 環境経営目標及び環境経営計画の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3 実施体制の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>【環境管理責任者への指示事項】</b>		
・ 売り上げ増加により、全項目で実績数量が増えましたが、原単位数量は減少にあるため、今度ともE A 2 1を推進していくこと。		
<b>【全体評価】</b>		
・ エコドライブ等をさらに追及して、無駄なエネルギーを使わないようにし、総実績を低減していくこと。		

# 教育訓練実施報告書

作成日：平成 6 年 7 月 27 日

作成者： 金山 明史

教育訓練の種類 (※該当項目の□をチェック)			実施日時	6 年 6 月 30 日
<input type="checkbox"/> A : 経営層教育	<input type="checkbox"/> D : 法令等教育	<input type="checkbox"/> E : 力量・技能教育		10 ~ 12
<input type="checkbox"/> B : 管理者教育	<input type="checkbox"/> F : 緊急時対応教育			
<input type="checkbox"/> C : 一般教育				
方法	<input type="checkbox"/> 社外教育 <input checked="" type="checkbox"/> 社内教育	講師	環境管理責任者 金山 明史	場所 金山建設(株) 平山営業所

## 【教育訓練内容／使用資料等】

### 『想定する緊急事態』

事業所での防災訓練  
消火器の取扱方法の周知。  
傷病者発生時の対応。

### 『訓練の手順』 業務継続計画

- 1 災害発生時の初動対応
- 2 消火器、防災器具の取扱い
- 3 事後対応

## 【実施状況】

### 参加者

金山行一 金山明史 鈴木真紀 牛場誠二 金山妙子 小杉幸太郎 保坂 勇

事務所にて、「震度6の地震発生」から始め、地震を対象にした訓練を行った。

初期初動として、倒壊のおそれのない事務所外に避難し、従業員の確認を行った。

各自、自分の家族に連絡をとり、家族の安否確認をした。

火災が発生したという想定で、(古い)消火器で消火訓練を行った。

## 【評価】 (問題点有→改善)

- 1 家族用緊急連絡表にて傷病者家族への連絡方法確認、消火器、防災器具等の取扱いなどが身につく、訓練は問題なく実施できた。  
また、自社AED操作について理解した。

\* 手順の見直し改訂  要  不要

環境関連法規の順守状況のチェック結果

見直日 令和6年 7月27日  
 作成者 金山 明史  
 承認者 金山 明史

1. 環境関連法規制等の順守状況

種類	環境法規制等の名称/略称	規制内容			実 施	文書・記録(例)	順守状況
		届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・順守事項	【有資格担当者】	
廃棄物処理・リサイクル	廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、コンクリート破片など 「石綿含有（重量比0.1%超）産業廃棄物」 「リース業に係る木くず及び運送用パレットに係る木くず」（平成20年4月1日施行）	委託基準 1. 委託先の許可確認 委託基準 2. 委託契約の締結 3. 契約書の5年間保存 マニフェストの交付 1. 交付義務 2. マニフェストの交付 2. 回収・照合（発行後B2、D票90日E票180日以内） 3. 保管（5年間） ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」（前年度実績、毎年6月30日までに）	・収集運搬及び処分業者の許可証の確認 ・中間処理場等の現 ・委託契約書の内容確認（委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達） ・適合マニフェストを使用 ・マニフェスト管理台帳にて回収日の管理、A票の照合欄チェック。（回収期間内に返送され、法定事項記載確認済み） ・措置内容等報告書（知事への報告）	順守
		廃棄物の処理	廃棄物	現場保管又は仮置場	野外焼却の禁止 積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置		
	ラージリサイクル法	解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事	指定副産物	リサイクル法：土砂、コンクリートの塊、アスファルト・コンクリートの塊、木材 国土交通省関係：建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材	・発生抑制（施工方法、資材選択） ・再利用、再生利用、再資源化努力		順守
	再生資源利用省令	解体工事、土工事、外構工事	指定副産物：建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の利用	【再生資源利用計画の作成】 ・体積が1000m3以上である土砂 ・重量が500tである砕石 ・重量が200t以上である加熱アスファルト混合	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存（1年間）		順守
	指定副産物利用促進省令	解体工事、土工事、外構工事型枠工事、木工事	指定副産物：建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の利用	【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m3以上である建設発生土 ・重量が200t以上であるコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成		順守
	建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上・新築・増築工事-500㎡以上・修繕・模様替工事-1億円以上・その他の工作物に関する工事（土木工事等）-500万円以上	新築工事及び解体改修工事	【特定建設資材】・コンクリート（プレキャスト鉄筋コンクリート版を含む）、木材、アスファルトコンクリート	・発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出・発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進	・発注者への計画等説明書と完了報告書 ・下請負者への告知書 ・知事への届出書（条例規定）	順守
	家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出（作業所あるいは詰所の家電が対象）	特定家庭用機器	【特定家庭用機器】・テレビ（液晶・プラズマ含）、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する	領収証	順守
	建設廃棄物処理マニュアル	産業廃棄物の処理、委託	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設木くず、金属くず、ガラスくず建設廃材、ゴムくず、コンクリート破片など	マニフェストに基づく適正処理の実施	収集運搬業者、処分業者の許可証確認、中間処理場、最終処分場の確認	順守
	建設副産物適正処理推進要綱	建設副産物が発生する建設工事	建設副産物が発生する建設工事	建設発生土、建設副産物	・発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備・協力業者の指導等 ・「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録	順守
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	建設汚泥が発生する作業	建設汚泥	建設汚泥を建設資材として利用する場合土壌の汚染に係る環境基準に適合しないものは、適用範囲外	利用にあたって、適切な調査・設計・施工及び管理を行うリサイクルの結果を確認し、記録を保管	「建設汚泥の工中間利用に関する確認書」 「建設汚泥再生利用計画書」 「建設汚泥リサイクル伝票」 「建設汚泥再資源化等実録書」	順守	

大気汚染	自動車排出ガス特措法			東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県の一部(特定地域)	持ち込み車両が窒素酸化物の排出基準に適合していること	・自動車検査証確認記録	順守	
	建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	マイクロバス、貨物車、クレーン車、コンクリートミキサー車など	協力会社の持ち込み車両など		自動車使用の合理化および効率化、運転者への教育、輸送手段改善 「アイドリングストップ」の	・「自動車NOx・PM法ステッカー制度」(平成20年1月1日施行)	順守	
	オフロード法	ブルドーザ、クローラークレーン、くい打ち機、タワークレーン、ドリルジャンボなど	協力会社の持ち込み建設機械など			・適合証明 ・平成18年4月施行前販売証明	順守	
騒音・振動	騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	・特定建設作業・適用指定地域		・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル	・市町村へ事前確認 ・届出書(規則様式第9、但し条例等)	順守	
	振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、プレーカー、舗装版破砕機を使用する作業	・特定建設作業・適用指定地域		・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル	・市町村へ事前確認 ・届出書(規則様式第9、但し条例等)	順守	
その他関連法令	消防法(危政令)	火気の使用	火気の使用に関する規制	電気・ガスによる溶接、溶断作業 アスファルト等の溶解作業	市町村条例(火災予防条例)で定める。		順守	
	環境影響評価法	環境影響評価	環境アセスメントが適用された工事	道路、河川、鉄道、飛行場、発電所、廃棄物最終処分場、埋立・干拓、土地区画整理、新住宅市街地開発、工業団地造成、新都市基盤整備、流通団地造成、土地造成工事で、環境影響評価法対象事業	環境影響評価書に基づく計画書に従い実施		順守	
	建設工事公衆災害防止対策要綱(建築・土木)	掘削工事、山留工事、地盤改良工事、地下工事	【地盤沈下】市街地などの、事故が発生した場合、公衆に危害、迷惑を及ぼすおそれのある区域			付近居住者等への周知・埋設物の確認、土留工の管理・排水処理、杭鋼矢板の引抜き埋戻し時の地盤沈下防止の処置、掘削土排出時の塵芥・騒音防止の措置		順守
		工事全般、解体工事	【粉塵対策】建設工事の施工に当たって、公衆に危害、迷惑を及ぼすおそれのある地域					
	作業所で同意するその他の要求事項	・廃棄物の発生抑制、グリーン製品の使用に関する仕様あり(仕様書の該当部分をマーク)	・仕様書					順守
		・時間外の作業	・近隣協定	・騒音の発生する作業	・時間外での作業は事前に連絡する			
		・資材等の搬出入	・近隣からの要望で同意するもの	・粉塵の発生する作業	・粉塵の発生防止 ・アイドリング			
愛知県条例	愛知県民の生活環境の保全等に関する条例			アイドリングストップ			順守	
	産業廃棄物の適正な処理の促進に関する条例				処分を委託する適正業者選別確認・契約		順守	
浄化槽法	適正管理			清掃			順守	

**コミュニケーションメモ**

新規     継続・変更     完了(  受注  否)

作成	氏名	環境管理責任者 金山 明史		種類	<input type="checkbox"/> 営業情報	<input checked="" type="checkbox"/> 苦情
	年月日	令和 6 年 7 月 31 日			<input type="checkbox"/> 賞賛	<input type="checkbox"/> その他
工事場所等		立会・打合せ		見積提出		工事決定
住所	<input type="checkbox"/> 済 日にち	<input type="checkbox"/> 要 年	<input type="checkbox"/> 不要 月 日	<input type="checkbox"/> 済 期日	<input type="checkbox"/> 要 年	<input type="checkbox"/> 不要 月 日
位置図添付	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	時間	場所	提出日	年	月 日
		出席		見積No.		
				グリーン購入推進	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 決定 工事番号 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 中断 <input type="checkbox"/> 否決

**【発信・報告】**

令和5年8月1日から令和6年7月31日まで苦情等はありませんでした。

**【返信・連絡】**

- ・ 1発信事項1枚にて記入。追加発信(後日等)がある場合は用紙を追加しNo.にて管理すること。
- ・ 何時・どこで・誰が・誰と・何をしたか、わかりやすく簡潔に記載し、必要資料(位置図、見積書等)を添付すること。
- ・ 見積提出依頼された場合、グリーン購入を推進し採用した際は詳細(品目・数量等)を記載すること。